

鹿児島県感染症情報

2022年 第9週報 (2月28日~3月6日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、3月6日時点での届出総数は33600例です。本県に対するまん延防止等重点措置は、当初、1月27日から2月20日までであったところを期間中の感染状況を鑑み3月6日まで延長されてきました。延長後の新規感染者数が下降傾向となっている等の判断から3月6日をもって終了しました。

県内全域への 爆発的 感染拡大警報 を継続

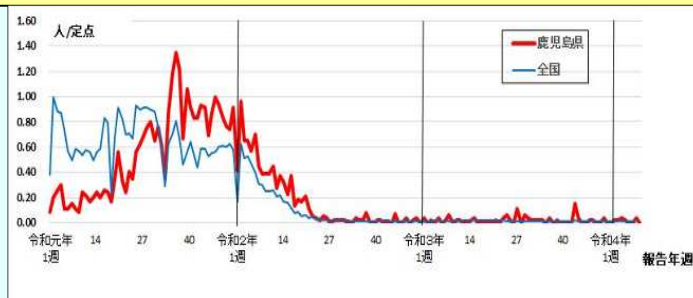
3月6日時点、県内では直近1週間一日平均400人余りの新規感染者が確認されています。検疫や国内で検出されているBA・2系統の拡がりや年度末を迎えて進学、就職、歓送迎会、春休みのイベント等、人の動きが活発になることにより感染の再拡大が懸念されます。

県内全域には「爆発的感染拡大警報」が継続して発令中です。外出の際には、基本的な感染防止対策を徹底し、混雑した場所や感染リスクの高い場所を避け、離島や県外に移動する場合には、不要不急でない場合も慎重に必要性を判断し、体調管理をしっかりと行い、「うつさない」、「うつらない」ことを念頭に行動を心がけてください。三密の回避、マスクの着用、こまめな手洗い、手指消毒、定期的な換気など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

令和3年の定点報告疾患でインフルエンザに次いで減少率の大きかった疾患は伝染性紅斑でした。令和2年6月下旬以降ほとんど低値で推移しました。累積定点当たり報告数をみると本県は全国平均値の約1.5倍でした。

令和3年の伝染性紅斑は、小児科定点医療機関から53人（累積定点当たり報告数0.98）の報告があり、令和2年（485人）より432人少ない状況でした。

令和3年の週別定点当たり報告数で最高値は第43週の0.15でした。全国の推移をみると令和2年6月下旬以降は、ほとんどの週が基線付近で推移していました。保健所別では川薩、鹿児島市、加世田、志布志の順に、年齢別では1歳、2歳、3歳の順に多く、5歳以下が全体の83%を占めていました。



第9週の定点報告疾患の報告数をみると、県内において流行発生警報域及び流行発生注意報域の保健所はありません。感染性胃腸炎は鹿児島市保健所が高値で推移しています。RSウイルス感染症、手足口病の報告数が第4週（1月末頃）と比べると、低値となってきました。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核1例（肺結核1例） 追加結核1例（第7週）
三類・四類感染症	発生報告なし
五類感染症	梅毒1例
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症 2822例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点91、小児科定点53です。（通常より各1減）
- ・第9週の定点把握対象疾患の総報告数は487人で、前週より11人少ない報告数でした（4頁参照）。
- ・**流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所
該当なし
- ・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所
該当なし

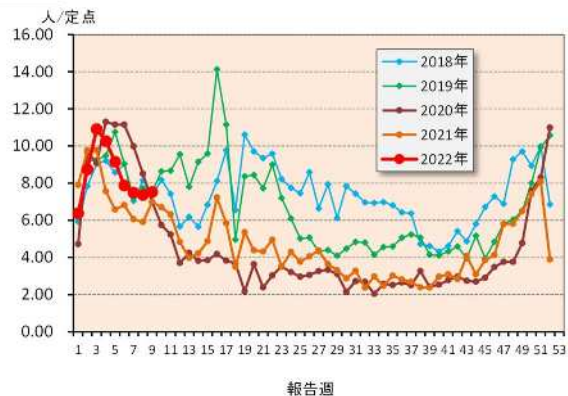
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第9週の感染性胃腸炎の報告数は399人で、前週より9人多く、定点当たりの報告数は7.53であった。

年齢別では、1歳（61人）、2歳（57人）、3歳（51人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（15.77）、鹿屋保健所（11.60）、指宿保健所（11.00）の順に多い。

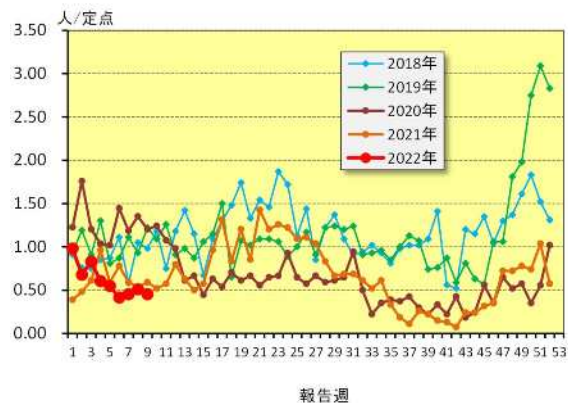


(2) 咽頭結膜熱

第9週の咽頭結膜熱の報告数は24人で、前週より3人少なく、定点当たりの報告数は0.45であった。

年齢別では、1歳（11人）、2歳（5人）、6～11ヶ月（3人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（1.60）、出水保健所（1.00）、始良保健所（0.71）の順に多い。



(3) RSウイルス感染症

第9週のRSウイルス感染症の報告数は21人で、前週より1人多く、定点当たりの報告数は0.40であった。

年齢別では、1歳（8人）、2歳（5人）、0～5ヶ月（4人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、大口保健所（4.00）、出水保健所（3.00）、川薩保健所（0.50）の順に多い。



【新型コロナウイルス感染症関連情報】

報告週

就学前の子どものマスクの着用について、どのようにしたらいいですか。

乳幼児（小学校に上がる前の年齢）のマスクの着用には注意が必要です。

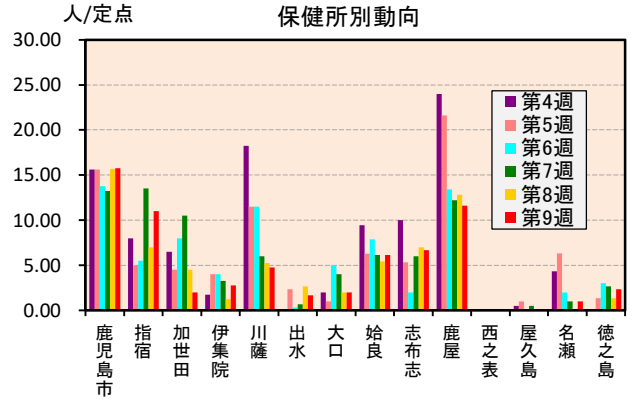
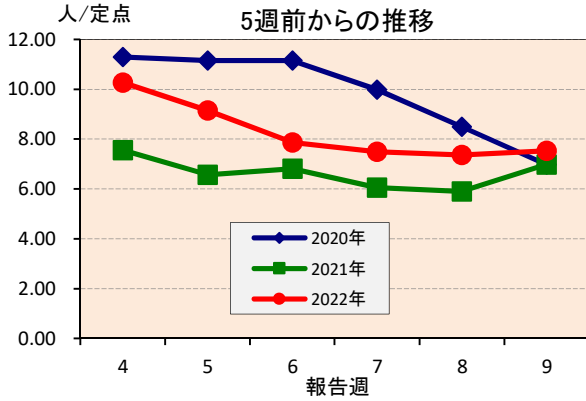
特に、2歳未満では、着用は推奨されません。息苦しさや体調不良を訴えることや、自分で外すことが困難であることから、窒息や熱中症のリスクが高まるためです。

また、2歳以上の場合でも、マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用してください。本人の調子が悪かったり、持続的なマスクの着用が難しい場合は、無理して着用させる必要はありません。マスクは適切に着用しないと効果が十分に発揮されません。（WHOは5歳以下の子どもへのマスクの着用は必ずしも必要ないとしています。）

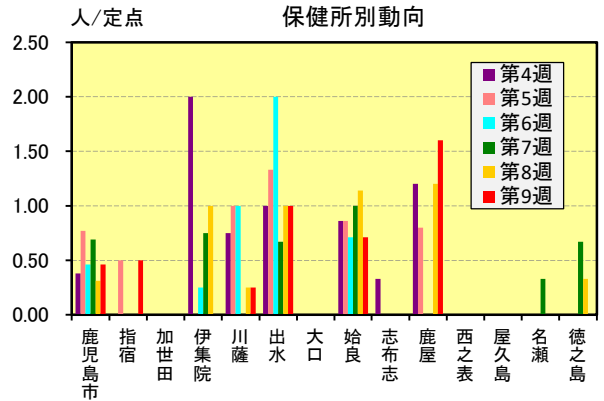
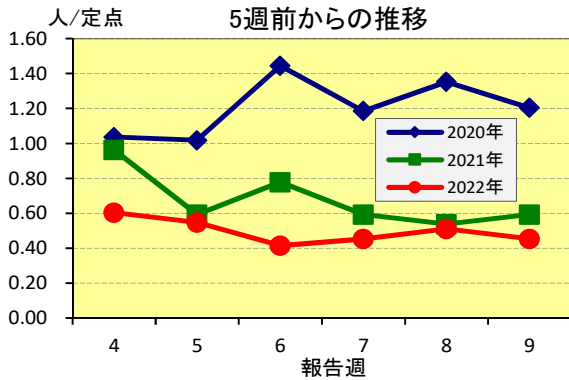
乳幼児の場合、感染の予防は、保護者とともに3密（密閉、密集、密接）を避け、人との距離の確保（フィジカル・ディスタンス）、手洗いなど、他の感染防止策にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

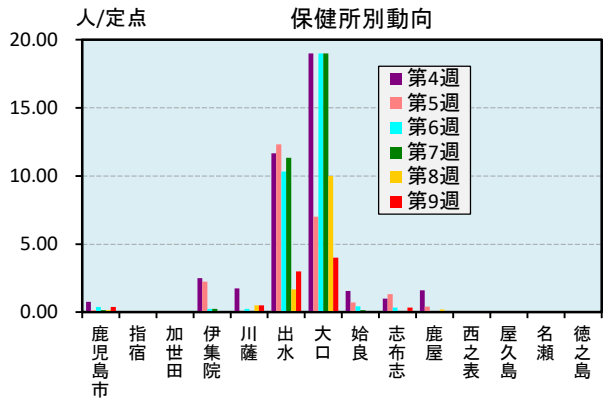
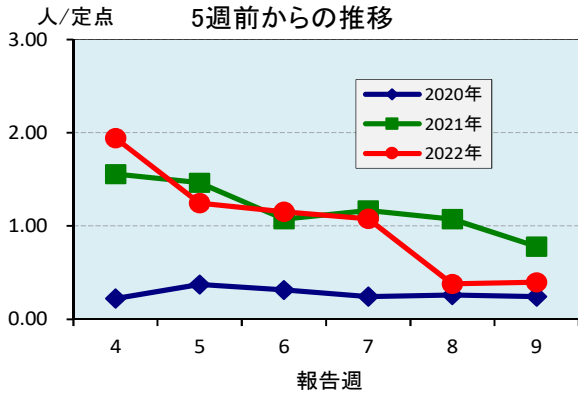
(1) 感染性胃腸炎



(2) 咽頭結膜熱

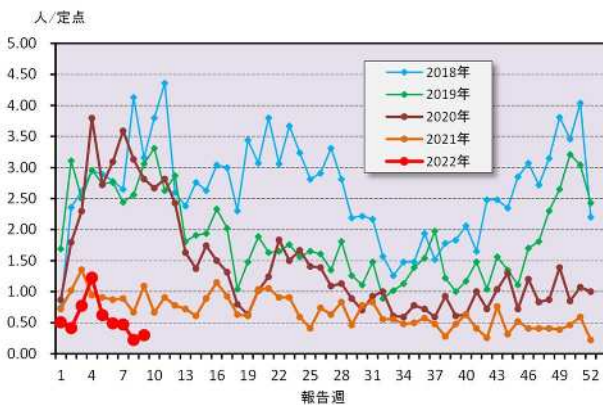


(3) RSウイルス感染症

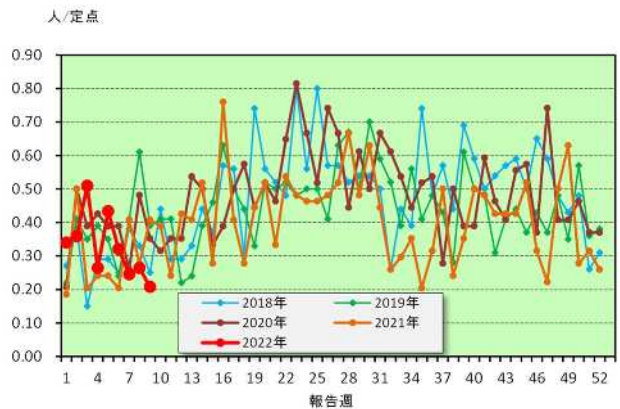


☆注目される感染症の発生状況

★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（鹿児島県）



★ 突発性発しん（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第9週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	咽頭結膜熱	24	0.45	290
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	267
	○ 感染性胃腸炎	399	7.53	4,011
	○ 水痘	6	0.11	49
	手足口病	8	0.15	605
	伝染性紅斑	-	-	7
	突発性発しん	11	0.21	156
	ヘルパンギーナ	-	-	55
	○ 流行性耳下腺炎	1	0.02	18
	○ RSウイルス感染症	21	0.40	619
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	1	0.14	10
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	1
	無菌性髄膜炎	-	-	2
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		487	0	6,103

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2022年4週)	4週前 (2022年5週)	3週前 (2022年6週)	2週前 (2022年7週)	1週前 (2022年8週)	今週 (2022年9週)
インフルエンザ	報告数	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	報告数	103	66	61	57	21
	定点当り	1.94	1.25	1.15	1.08	0.38
咽頭結膜熱	報告数	32	29	22	24	24
	定点当り	0.60	0.55	0.42	0.45	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	65	33	26	25	16
	定点当り	1.23	0.62	0.49	0.47	0.23
感染性胃腸炎	報告数	544	485	417	397	390
	定点当り	10.26	9.15	7.87	7.49	7.36
水痘	報告数	3	6	6	5	2
	定点当り	0.06	0.11	0.11	0.09	0.04
手足口病	報告数	80	47	25	25	27
	定点当り	1.51	0.89	0.47	0.47	0.51
伝染性紅斑	報告数	2	1	-	-	2
	定点当り	0.04	0.02	-	-	0.04
突発性発しん	報告数	14	23	17	13	14
	定点当り	0.26	0.43	0.32	0.25	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	5	2	3	2	1
	定点当り	0.09	0.04	0.06	0.04	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	2	2	4	1	-
	定点当り	0.04	0.04	0.08	0.02	-
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	-	1	1	1	2
	定点当り	-	0.14	0.14	0.14	0.29
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	1	-	-	-	-
	定点当り	0.08	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	0.08	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年09週(02月28日～03月06日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンカ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿児島市	0	0.00	21	0.40	24	0.45	16	0.30	399	7.53	6	0.11	8	0.15	0	0.00	11	0.21
指宿	-	-	5	0.38	6	0.46	6	0.46	205	15.77	3	0.23	5	0.38	-	-	4	0.31
加世田	-	-	-	-	1	0.50	-	-	22	11.00	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	1	0.25	4	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	2	0.50	1	0.25	-	-	11	2.75	-	-	1	0.25	-	-	1	0.25
出水	-	-	9	3.00	3	1.00	1	0.33	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	4	4.00	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	5	0.71	2	0.29	43	6.14	1	0.14	1	0.14	-	-	2	0.29
志布志	-	-	1	0.33	-	-	2	0.67	20	6.67	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	8	1.60	3	0.60	58	11.60	2	0.40	1	0.20	-	-	4	0.80
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿児島市	0	0.00	1	0.02	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
指宿	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2022年09週(02月28日～03月06日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	報告数 定点当り	1歳																				
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小児科定点報告疾病)	合計	4	2	8	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～							
RSウイルス感染症	報告数 0.40	0.08	0.04	0.15	0.09	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数 0.45	-	3	11	5	2	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 0.30	-	-	1	0.02	0.04	0.02	0.06	0.02	0.02	0.04	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告数 7.53	-	15	61	57	51	34	31	27	13	11	16	46	7	30	-	-	-	-	-	-	-
水痘	報告数 0.11	1	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告数 0.15	2	-	2	0.04	0.06	-	-	0.02	0.02	0.02	0.04	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告数 0.21	-	3	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数 1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	70歳～	
急性出血性結膜炎	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～					
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-